

2023年12月9日

報道関係者 各位

吉田寮自治会

12月19日学内シンポジウム 及び  
12月20日署名提出・記者会見の開催について

■概要

- 12月19日(火)夜、吉田寮自治会が学内シンポジウム「大学自治のいま・未来」を開催します。京大教員や学生の方々にスピーチをいただき、国際卓越研究大学問題や国立大学法人法改正問題など、大学自治に関わる諸問題を取り扱います。
- 12月20日(水)昼、吉田寮自治会がオンライン署名「吉田寮を残したい！」を総長宛に提出します。14時から構内で記者会見を行います。
- 両日とも、是非ご取材いただければと存じます。

■趣旨

2017年12月19日に出された吉田寮生への退去通告から、本年で6年が経ちます。大学側は寮自治会との話し合いによる解決を拒み、2019年に寮生を提訴しました。そうして始まった吉田寮現棟・食堂明渡請求訴訟は、本年10月に第一審が結審し、来年2月に判決を迎えようとしています。また、退去通告の同日に出された「タテカン規制」は、今なお京大構成員の自由な表現活動に萎縮効果を与えるものとなっています。

この6年間で、吉田寮生へのスラップ訴訟や保健診療所の廃止、国際卓越研究大学問題、そして国立大学法人法改正案の噴出など、京大、大学を取り巻く情勢は厳しくなっているといえます。そのような中で、再び「自治」とは何か、そして「大学」とは何かを問い直し、より自由な大学を作り直すための道筋を示すシンポジウムを開きたいと考えます。

また、このような中でも寮自治会は一貫して話し合いの再開を求め続けています。そうした活動の結果が、12月20日に予定されている「署名提出」です。寮自治会は2023年5月、change.orgにてオンライン署名「吉田寮を残したい！京大は裁判をやめて！（2023年開始版）」を始め、訴訟の取り下げと話し合いの再開を求める署名活動を半年以上にわたり行ってきました。20日に、それまで集まった署名を総長宛に提出し、報道関係者の方々に向けて記者会見を行います。

■12/19(火)シンポジウム詳細

- 学内シンポジウム「大学自治のいま・未来」
- 主催：吉田寮自治会
- 日時：2023年12月19日(火)19時～
- 詳細：<https://yoshidaryo.org/archives/sosho/3016/>
- 場所：京都大学吉田南構内 共南11教室
- 登壇者(敬称略)：小山哲(文 教員)、駒込武(教育 教員)、舟橋春彦(教育院 教員)、

旧金沢大学泉学寮生、京大留学生、京大院生ほか

- **賛同教員**(敬称略)： 足立芳宏(農), 大手信人(情報), 川島隆(文), 梶丸岳(人・環),  
小堀聡 (人文研), 坂梨健太(農), 高山佳奈子(法), 福家崇洋(人文研),  
細見和之(人・環), 前田昌弘(人・環), 松本卓也(人・環) ほか
- **趣旨文**：2023年12月19日、京都大学吉田寮生への一方的な退去通告、タテカン規制から6年を迎えます。この6年間で、吉田寮生へのスラップ訴訟や保健診療所の廃止、国際卓越研究大学問題、そして国立大学法人法改正案の噴出など、京大、大学を取り巻く情勢は厳しくなっています。そのような中で、再び「自治」とは何か、そして「大学」とは何かを問い直し、より自由な大学を作り直すための道筋を示すシンポジウムを開きたいと考えます。
- **昼の部**：同日12時過ぎからは「昼の部」と称して、京大正門クスノキ前にて、吉田寮生や、「パレスチナ人民と連帯する京大有志の会」らがマイクアピールを行います。

#### ■12/20(水)署名提出・記者会見詳細

- **署名提出行動**
  - **日時**：2023年12月20日(水)12:40～
  - **場所**：京都大学本部棟前
- **記者会見**
  - **日時**：同日14時～
  - **場所**：京大構内
  - **スピーカー**：吉田寮生、佐藤公美教授(人・環)、元寮生、京大農学部生(非寮生)

#### ■趣旨

最後になりましたが、本資料をお読みいただき、誠にありがとうございました。ご不明な点、取材のお問い合わせなどがございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

以上

お問い合わせ： 吉田寮自治会 取材担当 yoshidaryo.pr@gmail.com
---